

少しずつ変わっていく空や木の葉の色に移りゆく季節を感じます。春と並んで最も過ごしやすいこの時期、大人でも意欲的になりますから、子ども達はなおさら元気に溢れています。



さて先日、当園で運動会を行いました。ご近所の皆様はご存知の通り、北原運動場が昨年で閉鎖となりましたので、今年は園庭で行いました。広いグラウンドと比べれば確かに狭いかもかもしれませんが、今回初めて園庭で行ってみて、気が付いたことがいくつかありました。

まず、子ども達が遊び慣れた園庭、何度も何度も練習をした時と同じ場所、そして大好きなママやパパの顔がはっきり見える距離…。子ども達はとても安心できたでしょうし、自分の力を存分に発揮できたのだと思います。また、桜の木々が子ども達を応援しているかのように、かわいらしい万国旗ごと園庭を包み込み、情緒ある独特の空間を演出してくれたことも印象に残りました。

今回の運動会を通じて、ふと、以前どこかで耳にした「内側は外側より大きい」という言葉を思い出しました。見た目の広さにこだわらず、子ども達はその空間で何を感じ、何を得るか。子ども達の内側には想像もつかないほどの可能性が広がっています。運動会に感動する一方、“内側を見る目”で子ども達を見つめ、大人の想像や思い込みで子ども達の可能性を狭めてはいけないと痛感いたしました。

## <10月の活動>

### うんどうかい



0歳児から5歳児まで、みんな揃って運動会に参加しました。かけっこや玉入れをはじめ、親子競技やお遊戯など、どれも微笑ましく笑顔あふれるものばかりでした。そして、最年長の子ども達が披露してくれた「南中ソーラン」は息がぴったり合った迫力のある演技で、保護者の皆様はじめ多くの観客の方々が感動し、涙を流されていました。



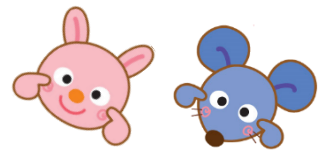
## バス遠足

3～5歳児の3クラスでバス遠足に行ってきました。場所は足立区のギャラクシティです。バスに乗ることだけでも楽しい子ども達でしたが、大型ネット遊具や科学実験（今回は空気砲でした）、プラネタリウムなどで楽しい時間を過ごしました。お弁当もみんなでおいしくいただきましたよ。





# 子育てワンポイント!



視覚は乳幼児期に一番発達します。子どもは自分の目の異常にはなかなか気づくことはできません。周りの大人が子どもの目をよく観察してあげましょう。

## こんな見方には注意しましょう

- ・テレビや絵本に近づいて見る
- ・見る時に首を曲げたり頭を傾けたりする
- ・上目づかいに物を見る
- ・目を細めて見る
- ・明るい戸外でまぶしがる
- ・目つきが悪い、目が寄っている

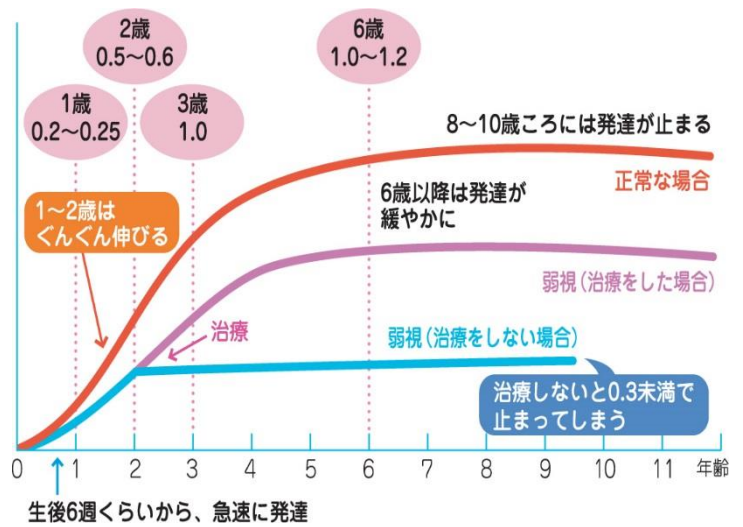


このようなことが見られると、斜視や遠視など見えづらい状態である可能性があります。子どもは視力が悪いことを自覚できないため、上記のような症状がないか普段から気にかけて見るようにしてください。

## 視力の発達に重要な乳幼児期

生まれたばかりは0.01くらいだった視力は、生後6週ころからぐんぐんと発達。5歳で1.0以上になり、その後発達の程度は緩やかになり、8~10歳くらいで完全に止まります。ですから、乳幼児期に、なんらかのトラブルで視力の発達がうまくいかなかった場合、その後視力を伸ばすのはとても難しいのです。

日ごろから子どもの目の状態に注意を向け、おかしいと思ったら、早めに受診しましょう。



## 【子育て支援活動】 ~パートナー保育登録制度~

田無北原保育園では、在宅で子育てをしているご家庭や出産前後の保護者の皆様を支援しております。パートナー保育者として登録いただくと、情報紙の発行をはじめ、育児相談や保育見学、園行事(\*)への参加などが可能となります。詳細はお問い合わせください。

※対象行事の例：プール開放、スイカ割り、焼き芋会、お餅つきなど  
(年度により異なる場合があります)



## アクセス MAP (駐車場はありません)



西武新宿線「田無駅」または西武池袋線「ひばりヶ丘駅」からバス「北原二丁目」停留所より徒歩1分

お問い合わせ Tel : 042-467-8080

URL : <http://kitahara-ns.org/>

田無北原保育園  検索

==== 社会福祉法人 大誠会 ====  
田無北原保育園 (私立認可園)  
田無保育園 (公立園運営受託)

子育て情報「きたはら」は、子ども達の健康と心豊かな成長の支援を目的に、田無北原保育園が発行している地域情報紙です。ホームページではバックナンバーもご覧いただけます。